

令和3年度版 中学校「国語」教科書について

1. 編修の基本方針

「言葉は、あなたと世界をつなぎ、 あなた自身の世界を作り上げる。」

次世代を担う子供たちには、予測困難な社会の中でさまざまな変化に積極的に向き合い、他者と協働しながら新しい価値を創り出すことが求められています。この教科書で学ぶ子供たちが、自らの手で未来を切りひらき、人との関わりの中で力強く生き抜いていくための言葉の力と豊かな感性を身につけられるよう、また、確かな力の習得を自分自身が実感し、国語を学ぶ達成感や充実感を味わうことのできるよう、次のことを基底において編修しました。

1 確かな国語の力を育む

—— 何を、何のために、どう学ぶのか、ひと目でわかる教科書です。

生徒自身が学習の見通しをもち、身につける資質・能力を意識して、主体的に取り組めるようにしました。学習活動を系統的に編成し、インプットとアウトプットを螺旋的に繰り返すことで資質・能力の定着を図ります。

2 語彙力を高め、豊かな感性と論理的思考力を培う

—— 筋道を立てて考え、豊かに感じ、想像するための言葉を育てる教科書です。

生徒が語彙を広げ、語感を磨くことができるよう、優れた作品・文章を多数用意するとともに、論理的思考力や豊かな感性を育み、言語文化への関心を高める教材や資料を随所に設けました。

3 国語の学びを、社会生活や未来につなぐ

—— 言葉を通して、学ぶ楽しさや人とつながる喜びを実感できる教科書です。

国語の学習を教科書や授業の中だけで閉じることなく、自ら整理したり、考えたり、発信したりすることで、身につけた力をさらに強化し、生きる力に大きく転化していけるようにしました。



1

確かな国語の力を育む

—— 何を、何のために、どう学ぶのか、ひと目でわかる教科書です。

「学習」(手引き) 生徒を「主体的・対話的で深い学び」へ誘います。

- 全体を上下2段に整理し、学習の流れを明確にすることで生徒が主体的に取り組めるようにしました。

上段 (学習の流れ)

「見通しをもつ」 何を、何のために学ぶかを把握する。言語活動と〔知識及び技能〕〔思考力、判断力、表現力等〕の目標を掲げました。

学習課題 学習過程に即して主体的に学ぶ。

「捉える」「読み深める」「考えをもつ」という学習過程に即して課題を示しました。個の活動と集団での活動を行き来しながら、多様性の中で主体的に自分の考えを確立できます。

「振り返る」 自己の成長を実感する。

「何ができるようになったか」や自己の変容を意識化する小さな課題を示し、身につけた資質・能力を次の学習に生かせるようにしました。

下段 (支え)

「学習の窓」 汎用性のある学習のポイントを図解。

上段の課題に取り組む際の手がかりとして、また、身につけた資質・能力を領域や教科を超えて活用する際にも生かれます。

The diagram illustrates the learning process flow and the structure of the textbook. It includes a table of learning objectives and a detailed diagram of the learning process.

学習過程	学習課題	学習目標
捉える	文章の構成に着目し、要旨を捉えよう。	文章の構成に着目し、要旨を捉えよう。
読み深める	文章の構成に着目し、その効果を考えよう。	文章の構成に着目し、その効果を考えよう。
考えをもつ	文章の構成に着目し、その効果を考えよう。	文章の構成に着目し、その効果を考えよう。
振り返る	文章の構成に着目し、その効果を考えよう。	文章の構成に着目し、その効果を考えよう。

1年P50「ちょっと立ち止まって」学習(手びき)

1年P6「学習の見通しをもとう」

巻頭「学習の見通しをもとう」

1 年間の国語学習全体を見渡せます。

- 1年間の国語学習の全体像を見渡すことができます。
- それぞれの言語活動を通して、どのような資質・能力を身につけるのかが明確に示されています。

The table provides a comprehensive overview of the 1-year Japanese language learning curriculum, detailing the learning process, learning tasks, and learning objectives.

2

語彙力を高め、豊かな感性と論理的思考力を培う

—— 筋道を立てて考え、豊かに感じ、想像するための言葉を育てる教科書です。

「情報整理のレッスン」「思考のレッスン」 多様化する社会に必要な、論理的思考力を育てます。

- 学習指導要領で新設された「情報の扱い方に関する事項」について、見開き2ページで解説するコンパクトな教材を設けました。
- よくある「困った場面」を出発点に、情報を「見える化」したり、「意見と根拠」「原因と結果」など、情報と情報との関係を理解したりすることの価値をわかりやすく解説しました。
- 「情報の扱い方に関する事項」を的確に理解し、論理的思考力の形成や表現に生かせるよう、1～3年まで系統立てて位置づけました。

The diagram illustrates the learning process flow for the 'Information Management Lesson' and 'Thinking Lesson'. It includes a table of learning objectives and a detailed diagram of the learning process.

学習過程	学習課題	学習目標
捉える	文章の構成に着目し、要旨を捉えよう。	文章の構成に着目し、要旨を捉えよう。
読み深める	文章の構成に着目し、その効果を考えよう。	文章の構成に着目し、その効果を考えよう。
考えをもつ	文章の構成に着目し、その効果を考えよう。	文章の構成に着目し、その効果を考えよう。
振り返る	文章の構成に着目し、その効果を考えよう。	文章の構成に着目し、その効果を考えよう。

2年P132「思考のレッスン2 根拠の吟味」より

「古典の世界」「季節のしおり」

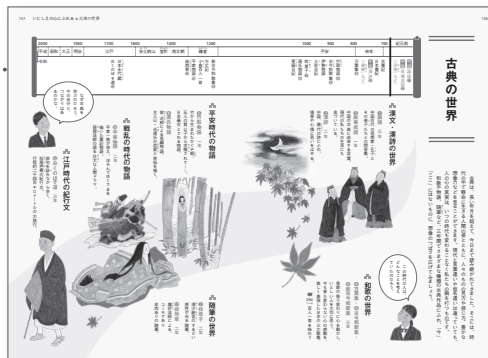
言語文化との新鮮な出会いを演出します。

【古典の世界】

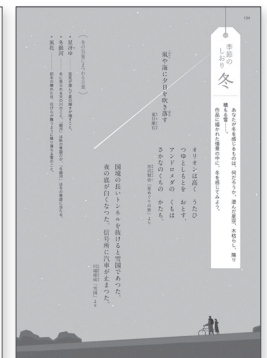
- 時代背景を直感的に理解できるビジュアル資料を増設。1年には、中学校3年間で学習する古典を見渡せる「古典の世界」を新設しました。

【季節のしおり】

- 四季の言葉や詩歌を挿絵とともに紹介。生徒の感性を揺さぶるような名文や情緒あふれる言葉を厳選しました。



1年P156「古典の世界」(古典導入)



3年P194「季節のしおり」(冬)

「言葉を集めよう」「語彙を豊かに」

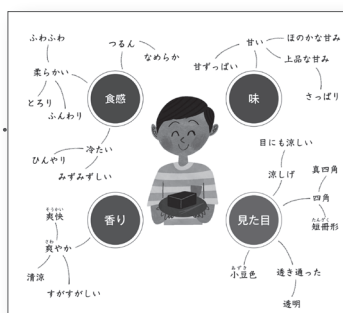
知性や感性を支える、語彙力を鍛えます。

【言葉を集めよう もっと「伝える」表現を目指して】

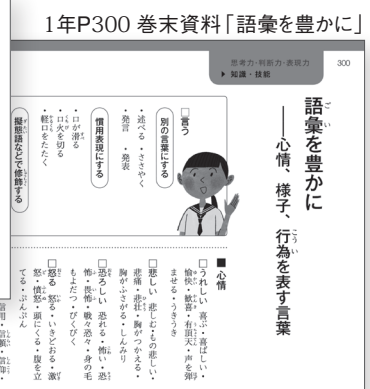
- 各学年に、語彙を広げ、語感を磨くことを目的とした教材を系統的に位置づけました。

【語彙を豊かに】[学習で用いる言葉]

- 教材や「学習の窓」、巻末に、思考や表現の助けとなる言葉をまとめました。



1年P80「言葉を集めよう」



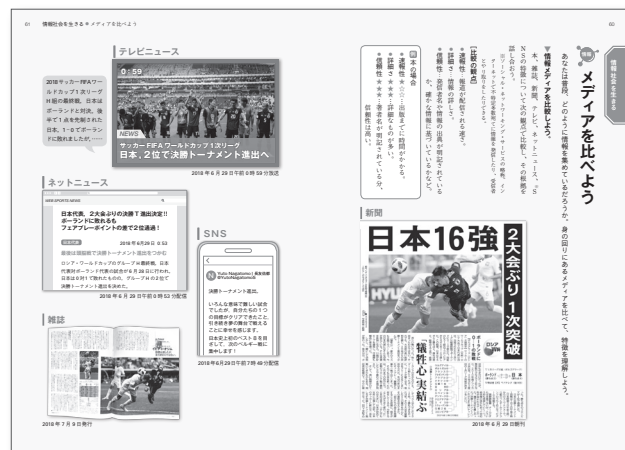
3 国語の学びを、社会生活や未来につなぐ

—— 言葉を通して、学ぶ楽しさや人とつながる喜びを実感できる教科書です。

「情報社会を生きる」

情報に流されずに自ら考える力を育てます。

- 情報化の進展する社会の中で、情報を疑い、適切に読み解く方法を実践を通して学びます。
- 図や表、グラフと文章を関連づけて読む方法、多様なメディアを活用した情報収集の方法、実用的な文章の読解や新聞記事の比べ読みのしかたなどを身につけることができます。

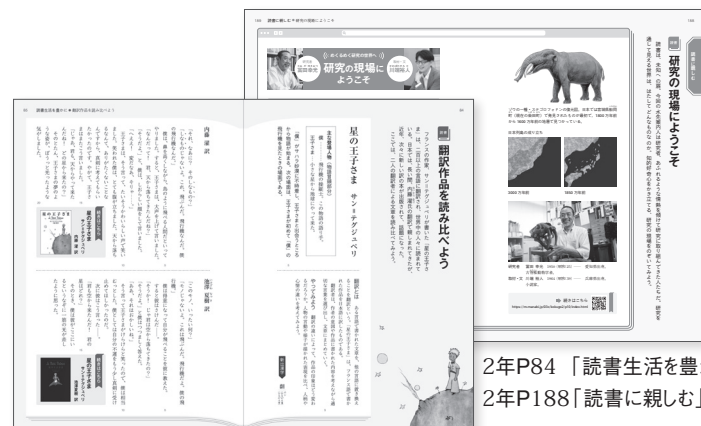


2年P60「情報社会を生きる」

「読書生活を豊かに」「読書に親しむ」

読書を通して学び続ける主体を育てます。

- 読書の価値を実感し、生涯にわたる読書習慣を定着させるために、年間2か所、読書単元を設けました。
- 教科書で完結することなく、確実に「本」に手を伸ばしてもらえよう、同じテーマで複数の作品の一部を紹介するなど、教材の示し方を一新しました。



2年P84「読書生活を豊かに」(左)
2年P188「読書に親しむ」(上)